

主催：文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
「日本古代学研究の世界的拠点形成」
共催：明治大学 国際日本古代学研究クラスター
明治大学日本古代学研究所

2019

1/12-13

交響する古代Ⅸ

国際学術研究会

明治大学グローバルフロント1階
グローバルホール

1月12日(土曜)9:30 開場

基調講演 10:05 ~ 11:05

石川日出志 (明治大学)
複眼的日本古代学研究
—金印をめぐる実践—

研究報告：11:05-11:50

吉村武彦 (明治大学名誉教授)
歌木簡と旧辞論の再構築

研究報告：13:30-17:30

ヨーゼフ・クライナー
(ドイツ・ボン大学名誉教授 / Josef. Kreiner)
岡正雄—20世紀における日本民族学の
形成と展開

小笠原好彦 (滋賀大学名誉教授)
聖武天皇が造営した紫香樂宮と甲賀宮

荒木志伸 (山形大学)
政庁機能の再検討—古代城柵官衙遺跡を
中心に

志村佳名子 (信州大学)
古代・中世除目書研究の可能性—三条西
家の除目書を中心として—

中井真木 (明治大学)
下襲のひろがり—院政期の故実を中心に

1月13日(日曜)9:30 開場

研究報告(午前の部)：10:15-11:45

山崎健司 (明治大学)
萬葉集仙覚本データベースの概要と可
能性

ローベルト・ヴィットカンプ
(関西大学 / Robert. Wittkamp)
古事記は翻訳できるか—英・独語に
おける音仮名表記の扱い

研究報告(午後の部)：13:15-17:30

木下綾子 (聖学院大学)
『和漢朗詠集』における菅原道真の詩と
本文系統

沈慶昊
(韓国・高麗大学校 / Sim Kyung Ho)
高麗・李朝の石碑墓碑文について

日向一雅 (明治大学名誉教授)
文学論の時代—10世紀の詩論・和歌論・
物語論

井上 亘 (常葉大学)
日本最初の書物：聖徳太子『法華義疏』
の成立

加藤友康 (明治大学大学院)
文化資源の研究資源化と統合型検索シ
ステムの開発

入場無料・申込不要

*どなたでも聴講できます。
*講演はすべて日本語、もしくは通訳があります。



MEIJI UNIV. 【問合せ先】明治大学日本古代学研究所 E-Mail: kodai@meiji.ac.jp